熊建労５４００人の力を合わせた

熊本地震救援ニュース

2016年５月16日（月）

第１８号

発行　村上久義教宣部長
TEL096-283-7811

前震後に車に避難していて助かった 益城町では片づけボランティアがまだ出来ず

前震の後、車中泊をしていて何とか助かったが、もう少しで自宅に車ごと押しつぶされる寸前であった。

いつ倒れてもおかしくない倉庫を何とかしたいが、り災証明の発行が５月末にずれ込んでいる益城町では、このような解体もり災証明発行前では自費となる。
（熊本県に対応要請中）

支援物資をもって 組合員宅を一軒ずつ訪問

松橋分会では末松常任執行委員と、支援物資を持って被災した仲間と対話を広げます。避難所からやっと家に戻ってきたという仲間も、余震が怖く「玄関に寝ている」などの生活の状況などを話され支援物資を渡し、励ましあいました。

ベテラン組合員の藤原さん（大工）も訪問し、被災状況などを話しながら、国や県や工務店などから「住宅相談の対応への支援要請」などがあっている事なども話し、支部に話があった際はよろしくと話すと「見に行きますよ。」と、うれしい返事がありました。これからも対話をすすめます。

１、被害状況（該当支部）

5/16　　9：00 現在

	菊鹿	阿蘇	東部	西部	宇城	計
ケガ	0	0	7	6	10	23
家 全壊	1	1	64	11	6	83
半壊 瓦・一部	11		151	30	138	330
地盤沈下 液状化		1 （川沿い）				1
土石流避難		4				4

（１）被災地の状況

〇熊本市東区の秋津レークタウンの市営団地では、下水道は復旧したが上水道は５月いっぱい復旧にかかる

〇これまで地震後のケガがほとんどでしたが、当日のケガな話が出てくるようになった。

（２）被災した仲間の要望（また地域住民からの要望）

〇支援物資を取りに来た仲間からは、全国から物資が届いていることが徐々に浸透してきている

２、支援活動

（１）支援

〇全建総連・全京都建築労働組合・宮崎県建設産業労働組合から支援物資が届きました。

〇水俣芦北支部の組合員から、お米の支援がありました。

〇全京都建築労働組合から４人が支援物資をもって来熊。ボランティア活動にも参加

<何か困ったことがあれば熊建労まで連絡を>

・熊建労　東部支部　熊本市東区健軍 2-10-11　　℡096-365-6626

・熊建労　西部支部　熊本市西区春日 7-1206-14　℡096-283-7811

・熊建労　宇城支部　宇土市花園町 205 番 1　　℡0964-22-1904

屋根瓦補修等で、転落事故が起きています。必ず労災加入を！

木造仮設住宅の建設には
熊建労の組合員でなければ従事できません

５月１１日の熊本県ホームページに、全建総連が主体となる全国木造建設事業協会（全木協）に、木造仮設住宅の建設を発注の記事が掲載され、熊建労内での大工職を中心とした就労者の募集が始まりました。木造仮設工事に参加できる就労者は、全建総連の組合員であることが条件です。結果、熊本県では、熊建労の組合員であることが就労条件となります。

各支部から大工職を中心に、説明会の意案内ハガキを郵送します。木造仮設工事に従事できる方は、説明会に参加いただき、登録をよろしくお願いします。就労は、飛び飛びでも構いません。参加できる日程の連絡も併せてよろしくお願いします。

詳しくは、最寄りの支部まで問い合わせをよろしくお願いします。